

高岡市教育将来構想検討会議でのこれまでの検討内容の取りまとめ

猛暑対策としてのエアコンの設置等について

○小中学校の夏期室温調査結果では、平成２９年度、３０年度と７月の平均室温が３０度を超えており、児童生徒の学習環境を整えるために、特別教室に加え、普通教室にもエアコンを設置することが望まれる。

○県内の他市町村においても、全ての小中学校の普通教室にエアコンを設置する動きが明らかとなっている。多くの保護者から設置を望む声を聴いており、高岡市においても早急な対応が望まれる。

○全ての普通教室へのエアコンの導入にあたっては多額の費用を要することから、国の補助制度等を活用するなど、財源の確保のために様々な工夫を行うことが必要である。

○小中学校の普通教室へのエアコンの一括導入が難しい場合は、不公平感が生じないよう優先順位等に配慮が必要である。

○夏休みの開始を早めるなど、長期休業期間を柔軟に設定することが望ましい。
その際には保護者会を第１学期終業式終了後の夏休み期間に行うなど、授業日数の確保にも配慮が必要である。